

ステート・ストリート

USボンド・オープン(為替ヘッジあり)

追加型投信/海外/債券/インデックス型

第106期末(2020年1月10日)	
基準価額	9,240円
純資産総額	558百万円
第18作成期 (2019年7月11日~2020年1月10日)	
騰落率(分配金再投資後)	1.6%
分配金合計	90円

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧およびダウンロードいただけます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせ下さい。

閲覧方法: 下記照会先ホームページから公募投資信託を選択、該当ファンド名称を選択し、右上の「運用報告書(全体版)」を選択

<ファンドに関する照会先>

営業部

電話番号 03(4530)7333

お問い合わせ時間 (営業日) 9:00~17:00

ホームページアドレス www.ssga.com/jp

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

第18作成期運用報告書

作成対象期間(2019年7月11日~2020年1月10日)

第101期(決算日 2019年 8月13日) 第102期(決算日 2019年 9月10日)

第103期(決算日 2019年10月10日) 第104期(決算日 2019年11月11日)

第105期(決算日 2019年12月10日) 第106期(決算日 2020年 1月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「ステート・ストリートUSボンド・オープン(為替ヘッジあり)」は、2020年1月10日に第106期の決算を行いましたので、第101期~第106期の運用状況をまとめてご報告させていただきます。

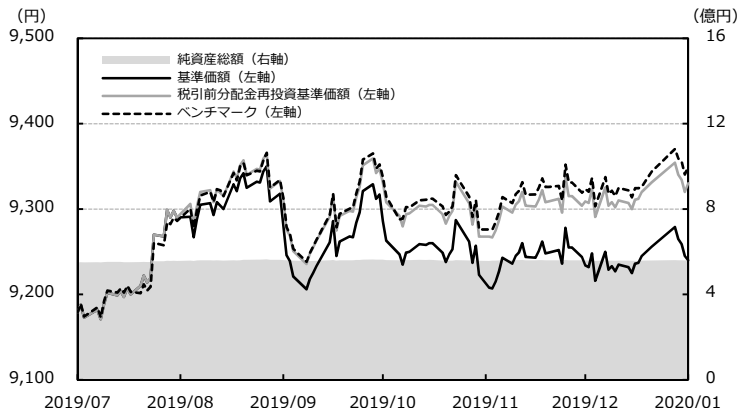
当ファンドは「米国社債インデックス・マザーファンド」(以下、マザーファンドといいます)受益証券を主たる投資対象とし、また実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、ブルームバーグ・バークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ヘッジベース)の動きに連動する投資成果を目指した運用を行いました。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

● 運用経過の説明

基準価額等の推移

作成対象期間(2019年7月11日～2020年1月10日)



第101期首	9,179円
第106期末	9,240円(既払分配金90円)
騰落率	1.6%(分配金再投資後)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・パークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ヘッジベース)※で、前期末の基準価額にあわせて委託会社が独自に指数化したものです。

※ ブルームバーグ・パークレイズの各指数における、ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	前半にトランプ米大統領が中国製品への新たな関税措置を発表したことを受けて債券が買われ、また米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げが国債の下支え要因となるとともに投資家のリスクセンチメントの改善につながり、社債スプレッド(社債の国債に対する上乗せ利回り)が縮小したことが社債価格の上昇要因となり基準価額の上昇に寄与しました。
------	---

1 万口(元本 10,000 円)当たりの費用明細

項 目	第 101 期～第 106 期 (2019年7月11日～2020年1月10日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平均基準価額	9,260円	-	作成期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	33円	0.354%	(a)信託報酬 = 作成期中の平均基準価額×信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
(投信会社)	(13)	(0.138)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.194)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.017	(b)その他費用 = 作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.010)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	・ その他は、金銭信託手数料及び LEI 支払手数料
合 計	35円	0.371%	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

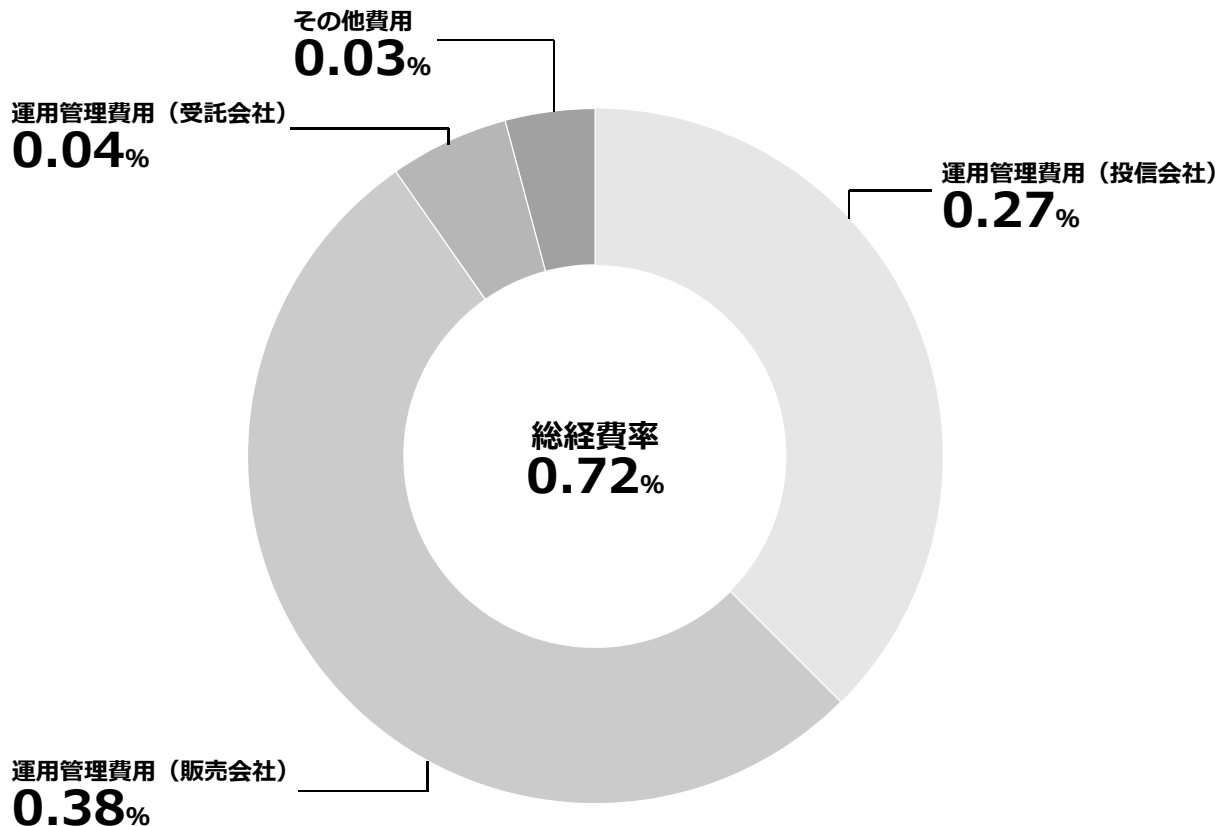
(注3) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は0.72%です。**



(注1) 費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

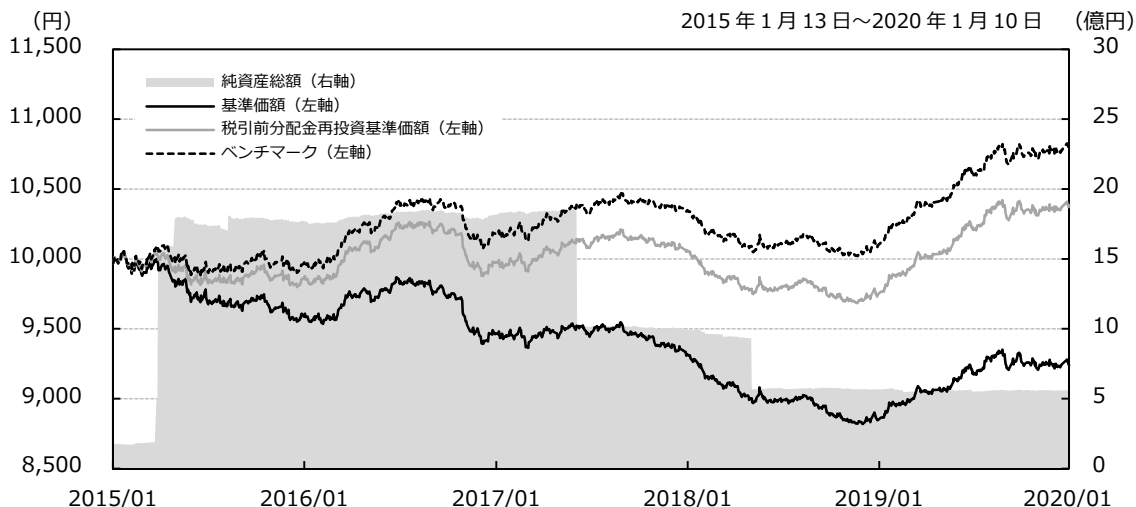
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 費用はマザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドのベンチマークは、ブルームバーグ・パークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ヘッジベース)※で、2015年1月13日の値が基準価額と同一となるよう指数化したものです。

※ ブルームバーグ・パークレイズの各指数における、ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

決算日	2015年1月13日	2016年1月12日	2017年1月10日	2018年1月10日	2019年1月10日	2020年1月10日
基準価額(円)	9,968	9,588	9,464	9,308	8,845	9,240
期間分配金合計(税込み)	300	270	240	230	180	180
騰落率(%)	4.3	△1.1	1.2	0.8	△3.1	6.5
ベンチマーク騰落率(%)	4.8	△0.0	2.2	1.5	△2.3	7.0
純資産総額(百万円)	176	1,770	1,813	992	566	558

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てています。

投資環境

【米国債券市場】

当期の米国の国債市場は、米中貿易協議に影響を大きく受ける展開となりました。期前半はトランプ米大統領が中国製品への新たな関税措置を発表したことを受け債券が買われました。期後半は堅調な米雇用統計や米中貿易交渉の進展が債券の売り材料となりました。また、FRBが7月、9月、12月にそれぞれ0.25%の利下げを実施したことも債券の買い材料となりました。前期末の2019年7月10日(現地7月9日)に1.88%だった米国5年債利回りは、当期末の2020年1月10日(現地1月9日)には1.65%へと低下しました(債券価格は上昇)。また、同期間の米国10年債利回りは、2.06%から1.85%まで低下(債券価格は上昇)しました。

米国の社債市場は、期前半は米中貿易摩擦に対する懸念が強まる場面では平均スプレッドが拡大しましたが、FRBによる3回の利下げや米中貿易摩擦の懸念後退、特に12月に米中貿易協議の第1段階が合意に至ったことが投資家のセンチメント改善につながり、社債が買われたことから社債スプレッドが縮小しました。ブルームバーグ・バークレイズ米国社債(1-10年)インデックスの平均スプレッドは、前期末2019年7月10日(現地7月9日)の0.89%から当期末の2020年1月10日(現地1月9日)には0.72%まで縮小(債券価格にプラス)しました。

当期は、国債を上回る相対的に魅力的な社債利回りがインカム要因として引き続き収益向に働き、ファンドの基準価額(分配金再投資)の上昇要因となりました。

【為替市況】

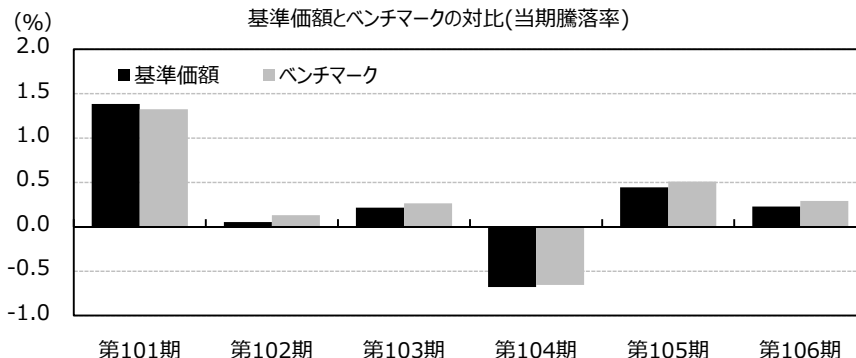
ドル・円レートは、期前半の8月、米中貿易摩擦の激化と世界経済の減速懸念を背景に日本円が上昇しました。9月に入ると米中貿易摩擦に対する過度な懸念が後退したことを受けて円が売り戻されました。期後半は米中貿易協議への進展期待や、英国の欧州連合(EU)離脱に対する懸念の後退を受けて世界的にリスク許容度が改善したことを背景に円安基調となりました。前期末の2019年7月10日には109円台前半だった相場は、2020年1月10日には概ね横ばいの109円台半ばとなりました。なお、当ファンドでは為替ヘッジを行っている為に、為替レート変化の影響は限定的でした。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンド	当ファンドは「米国社債インデックス・マザーファンド」受益証券を高位に保つ運用を行いました。
米国社債インデックス・マザーファンド	<p>マザーファンドは、米国社債の投資適格銘柄を主要投資対象とし、ブルームバーグ・バークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ベース)の動きに連動する投資成果になるよう運用を行いました。米国社債への投資は原則として高位を維持し、外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行っておりません。</p> <p>ブルームバーグ・バークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ベース)の収益率を捉える目的で、層化抽出法の発想に従って、ファンドの社債業種配分や格付け配分、発行体比率、デュレーション(金利感応度)、債券満期構成などをベンチマークに合致させるように努めつつ、原則としてインデックスを構成する社債に幅広く分散投資しました。インデックスの構成銘柄変更のタイミングに合わせて、各月末にファンドのリスク特性をベンチマークに合わせるべくリバランス(銘柄の入れ替え)を行うとともに、ファンドで受け取った利金の再投資も行いました。債券組入比率は期を通じて高位を維持しております。</p>

当該投資信託のベンチマークとの差異

基準価額の騰落率は+1.6%となり、ベンチマークの騰落率(+1.9%)を0.2%下回りました。当ファンドから投資しているマザーファンドにおいては、ポートフォリオの金利とクレジットのリスクをベンチマークと同等に管理しながら、幅広い発行体に高度に分散した銘柄群により、ベンチマークと同様に米国社債市場のリターンを安定的に享受することに成功したものの、当ファンドから信託報酬等の費用を控除したことがマイナス要因となりました。



分配金

第 101 期から第 106 期における収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、1 万口当たりそれぞれ 15 円(税込み)としております。また収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

■ 分配原資の内訳

(1 万口当たり・税込み)

項 目	第 101 期 (2019年7月11日~ 2019年8月13日)	第 102 期 (2019年8月14日~ 2019年9月10日)	第 103 期 (2019年9月11日~ 2019年10月10日)	第 104 期 (2019年10月11日~ 2019年11月11日)	第 105 期 (2019年11月12日~ 2019年12月10日)	第 106 期 (2019年12月11日~ 2020年1月10日)
当期分配金 (対基準価額比率)	15 円 0.161%	15 円 0.161%	15 円 0.161%	15 円 0.163%	15 円 0.162%	15 円 0.162%
当期の収益	15 円	15 円	15 円	15 円	15 円	15 円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	916 円	922 円	928 円	934 円	941 円	946 円

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

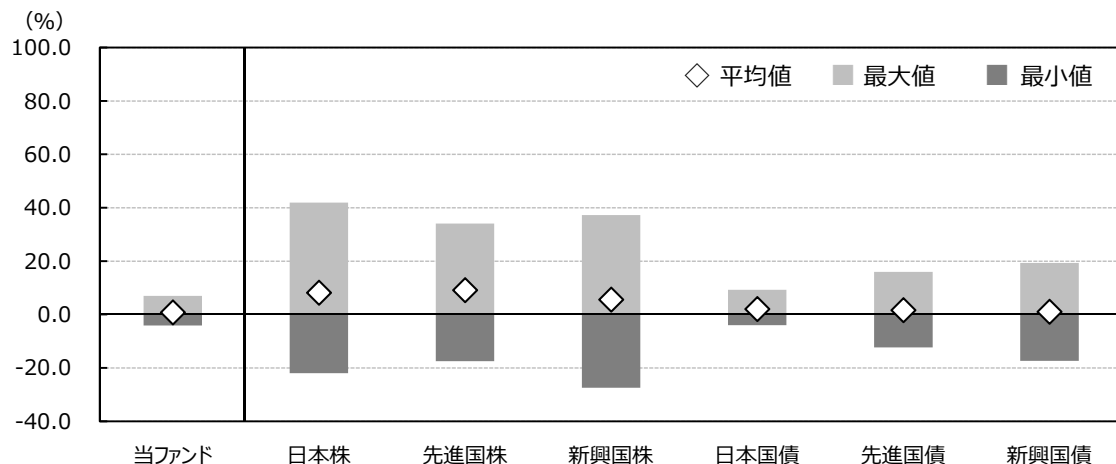
● 今後の運用方針

今後も引き続き、マザーファンドを通じて、主として米国社債の投資適格銘柄に投資し、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、ブルームバーグ・バークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ヘッジベース)に連動する投資成果を目指します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信/海外/債券/インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国社債インデックス・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国社債の投資適格銘柄に実質的に投資を行い、また実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、ブルームバーグ・パークレイズ米国社債(1-10年)インデックス(円ヘッジベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ・ 外貨建資産およびマザーファンド組入れに伴う実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。 	
主要投資対象	ベビーファンド	米国社債インデックス・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	米国社債の投資適格銘柄
運用方法	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ マザーファンド受益証券へ投資し、その割合には制限を設けません。 ・ 米国社債への実質投資割合には制限を設けません。 ・ 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国社債への投資は原則として高位を維持し、その投資割合には制限を設けません。 ・ 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・ 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。</p> <p>① 分配対象額の範囲 分配対象額は、経費控除後の利子・配当収入および売買益(評価益を含みます)等の範囲内とします。</p> <p>② 分配方針 分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③ 留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.8	8.2	9.2	5.6	2.1	1.7	1.1
最大値	6.9	41.9	34.1	37.2	9.3	15.9	19.3
最小値	-4.1	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 - * 5年間(2015年1月~2019年12月)の各月末における年間騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
 - * 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 - * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
 - * 代表的な資産クラスを表す指数
 - 日本株 ……………東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 - 先進国株 ……………MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
 - 新興国株 ……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 - 日本国債 ……………NOMURA-BPI 国債
 - 先進国債 ……………FTSE 世界国債インデックス(除く日本・円ベース)
 - 新興国債 ……………JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
- ※各指数の詳細は、「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数についてをご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

● 当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

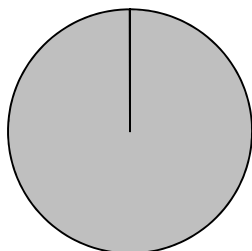
組入(上位)ファンド(銘柄)

	第106期末
	2020年1月10日
米国社債インデックス・マザーファンド	100.0%
その他	-0.0%

(注) 組入比率は、純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

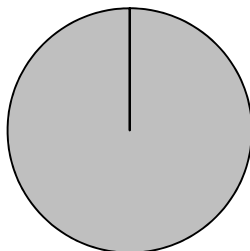
資産別配分

その他 -0.0%



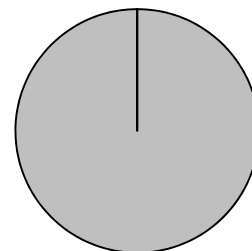
親投資信託 100.0%

国別配分



日本 100.0%

通貨別配分



日本円 100.0%

(注1) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項 目	第 101 期 2019年8月13日	第 102 期 2019年9月10日	第 103 期 2019年10月10日	第 104 期 2019年11月11日	第 105 期 2019年12月10日	第 106 期 2020年1月10日
純資産総額	558,495,637 円	560,392,838 円	563,007,344 円	556,648,709 円	558,962,423 円	558,901,918 円
受益権総口数	601,086,190 口	603,776,964 口	606,297,618 口	604,521,607 口	605,346,720 口	604,867,027 口
1 万口当たり基準価額	9,291 円	9,281 円	9,286 円	9,208 円	9,234 円	9,240 円

(注) 当作成期中における追加設定元本額は24,009,119円、同解約元本額は18,877,482円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

◇米国社債インデックス・マザーファンド



組入上位 10 銘柄

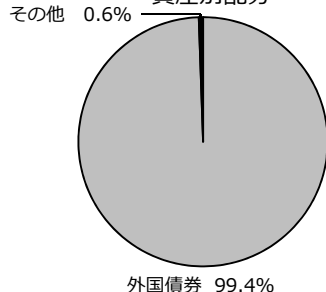
※対債券時価総額

	銘柄名	投資国名	通貨	比率
1	VERIZON COMMUNICATIONS INC 4.329% 2028/9/21	アメリカ	USD	0.37%
2	CVS CORP 4.3% 2028/3/25	アメリカ	USD	0.28%
3	GE CAPITAL INTL FUNDING 2.342% 2020/11/15	アメリカ	USD	0.25%
4	GENERAL ELECTRIC CO-GLOBAL 2.7% 2022/10/9	アメリカ	USD	0.21%
5	GOLDMAN SACHS GROUP INC 3.75% 2025/5/22	アメリカ	USD	0.20%
6	J.P. MORGAN & CO INC 2.295% 2021/8/15	アメリカ	USD	0.20%
7	BANK OF AMERICA CORP 3.004% 2022/12/20	アメリカ	USD	0.19%
8	BANK OF AMERICA CORP 3.419% 2027/12/20	アメリカ	USD	0.19%
9	CVS CORP 3.7% 2023/3/9	アメリカ	USD	0.19%
10	CITIGROUP INC 3.4% 2021/7/23	アメリカ	USD	0.19%
組入銘柄数			1,894 銘柄	

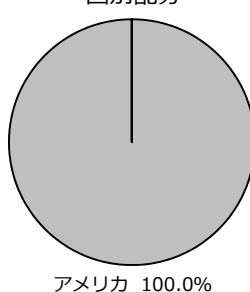
1 万口当たりの費用明細

項目	当期 (2018年3月6日～ 2019年3月5日)
(a) その他費用	2円
(保管費用)	(2)
(その他)	(0)
合計	2円

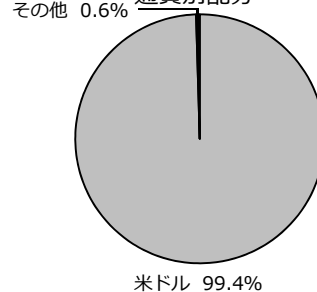
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2019年3月5日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当該マザーファンドの直近の決算期のもので、費用項目については、2ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。